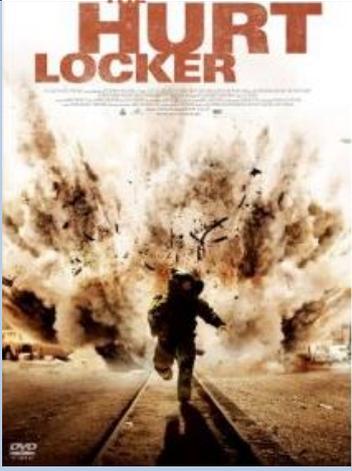


『ハート・ロッカー』 <i>The Hurt Locker</i> 2009年		執筆: 清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ: 監督: キャスリン・ビグロー/ 脚本: マーク・ボール/ 音楽: マルコ・ベルトラミ、バック・サンダース/ 音響効果: ポール N.J.オットソン/ 編集: ボブ・ムラウスキー、クリス・イニス/ 撮影監督: バリー・アクロイド/ 製作総指揮: トニー・マーク/ 製作: キャスリン・ビグロー、マーク・ボール、ニコラス・シャルティエ、グレッグ・シャピロ/</p> <p>キャスト: ウィリアム・ジェームズ二等軍曹: ジェレミー・レナー / J.T. サンボーン軍曹: アンソニー・マッキー/ オーウェン・エルドリッジ技術兵: ブライアン・ジェラティ/ マット・トンプソン軍曹: ガイ・ピアース / 請負チームリーダー: レイフ・ファインズ/ リード大佐: デヴィッド・モース / コニー・ジェームズ: エヴァンジェリン・リリー/ ケンブリッジ大佐: クリスチャン・カマルゴ /</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	131分	
ストーリー	<p>2004年夏、イラクのバグダッド。イラク戦争下でアメリカ陸軍爆弾処理班は、殉死した班長の代わりにジェームズ軍曹が赴任する。ジェームズ軍曹は爆弾処理にかけて素晴らしい腕前と勇気を持っているが、ルールを無視して独走し、部下は恐怖を感じる。任務終了まで日数を数えて待つ兵士たちの気持ちに反してイラク側は次々と狡猾な方法で爆弾を仕掛けて攻撃し、仲間の命は奪われていく。タイトルの「ハート・ロッカー」は、兵士用語で「棺桶」、「行きたくない場所」の意味である。</p>	
時代設定	2004年	
場所	イラクの首都バグダッド	
社会背景	<p>イラク戦争中の2004年。イラク戦争は2003年3月20日アメリカ合衆国、イギリス、オーストラリアが「イラク武装解除問題」の違反を理由にイラクに侵攻した軍事介入によってジョージ・W. ブッシュ政権下で始ま</p>	

	り、2011年12月15日バラク・オバマ大統領による終戦宣言まで続いた。2001年の9.11「同時多発テロ事件」以来アメリカ国内では、イラク強硬派の発言がめだっていた。アメリカはイラクに武装解除の要求をしたが、イラクに迅速に受け入れられなかったために戦闘を開始した。
文化的背景	中東問題はユダヤ教のイスラエルとイスラム諸国の対立である。アメリカはイスラエルを支援してきた。アメリカ内のイラクと敵対するイスラエル寄りの人々のブッシュ政権への働きかけ、アメリカ側のイラクの石油確保の必要性。
使用言語	英語(軍用語多い、やや聞き取りにくい)
テーマ	イラク戦争下でイラク駐留中のアメリカ陸軍爆弾処理班の生死をかけた日常を怜悧でリアルな視点で描く。
みどころ	爆弾を命がけで処理するアメリカ陸軍ジェームズ軍曹の手腕と勇気、無鉄砲で独善的なように見えて部下や弱者を思いやるジェームズのヒューマニティ、言葉が通じない異文化の中で苦闘するアメリカ兵士たち、IED(即席爆発装置)の解除に苦闘するアメリカ陸軍の姿を初めて映画化。
印象深いせりふ	JAMES: I know this kid. His name is Beckham. He sells DVDs. . . . you ever see a body bomb before? SANBORN : Another two inches. Shrapnel zings by, slices my throat. I bleed out like a pig in the sand, Nobody'll give a shit. I mean, my parents'll care, but they don't count, man, Who else?.. . it's life or death. You roll the dice and you deal with it. You recognize that, don't you?
授業教材用 メリット	リアルな観点から描くので、戦争映画にありがちなヒロイズムが存在しない。戦争という殺戮行為の悲惨さを訴える。死が日常的な戦場で生の意味を問う。命がけで任務を遂行するアメリカ陸軍兵士のプロ意識。緊迫感とサスペンス。
授業教材用 デメリット	アメリカ兵士とイラク現地人の爆死の悲惨さ(人間爆弾に改造されるイラク人少年、爆弾を巻きつけられて殺されるイラク人、次々と倒れるアメリカ兵)、現実のできごとなので、ゲーム感覚で楽しめない。
映像入手元	ポニー・キャニオン (DVD/ Blu-ray)
原作の有無	無
支持反応	metacritic 評価 (批評家 94、観客 7.1) Rotten Tomatoes 評価 (批評家 98、観客 84)
キーワード	イラク、バクダッド、イラク戦争、アメリカ陸軍、爆弾、ルール、勇気、ハート・ロッカー (棺桶)、戦争映画、IED(即席爆発装置)、駐留。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。